

科目名 (科目番号)	応用栄養学 実習 I (092113)	教員名 増野 弥生	学科等	保健栄養	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			オフィスアワー		授業前後		
授業概要	応用栄養学 I において学んだ妊娠・授乳期の生理的特性や、乳児期・幼児期・学童期の発達・成長過程での身体の機能的変化について学んだことの実際を理解する。各ライフステージ・ライフスタイルに応じた栄養マネジメントの方法を可能とするために、栄養ケアプランの作成能力、それに沿った献立作成能力、さらに応用調理技術を学習する。						
準備学習	毎回の授業の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと。						
授業計画	回	授業項目	学習内容・到達目標				
	1	オリエンテーション 食事計画について	到達目標：栄養ケアプラン作成の手法を理解する。 学習内容：献立作成時の基礎知識、栄養ケア・マネジメントの意義について学ぶ。				
	2	献立作成、応用調理の実際	到達目標：栄養ケアプランの目標設定の手法を理解する。 学習内容：栄養ケアプランの作成・目標設定の手法について学習する。				
	3	献立作成、応用調理の実際	到達目標：基礎的調理技術・応用調理技術、目安量、調味パーセントなどについて理解する。 学習内容：基礎的調理技術・応用調理技術、目安量、調味パーセントなどについて学習する。				
	4	献立作成、応用調理の実際	到達目標：献立作成の基本とライフステージ別展開方法を理解する。 学習内容：献立作成の基本とライフステージ別展開方法について学習する。				
	5	母性栄養(1)	到達目標：妊娠・授乳期の症例について栄養ケアプランを作成できる。 学習内容：妊娠・授乳期の症例について栄養ケアプランの作成について学習する。				
	6	母性栄養(2)	到達目標：栄養ケアプランに沿った献立を作成できる。 学習内容：栄養ケアプランに沿った献立の作成について学習する。				
	7	母性栄養(3)	到達目標：妊娠・授乳期の栄養管理を調理実習を通して理解する。 学習内容：妊娠・授乳期の調理実習を行う。				
	8	乳児期(1)	到達目標：乳児の栄養マネジメントについて理解する。 学習内容：乳児の栄養マネジメントについて学習する。				
	9	乳児期(2)	到達目標：調乳と離乳食の栄養管理を調理実習を通して理解する。 学習内容：調乳と離乳食の調理実習を行う。				
	10	幼児期(1)	到達目標：幼児期の栄養マネジメントについて理解する。 学習内容：幼児期の栄養マネジメントについて学習する。				
	11	幼児期(2)	到達目標：幼児期の栄養ケアプランに沿った献立を作成できる。 学習内容：幼児期の栄養ケアプランに沿った献立の作成について学習する。				
	12	幼児期(3)	到達目標：幼児食の栄養管理を調理実習を通して理解する。 学習内容：幼児食の調理実習を行う。				
	13	学童期(1)	到達目標：学童期の症例についてアセスメントし、栄養ケアプランを作成できる。 学習内容：学童期の症例についてアセスメントし、栄養ケアプランについて学習する。				
	14	学童期(2)	到達目標：栄養ケアプランに沿った献立を作成できる。 学習内容：栄養ケアプランに沿った献立の作成について学習する。				
	15	学童期(3)	到達目標：学童期の栄養管理を調理実習を通して理解する。 学習内容：学童食の調理実習を行う。				
成績評価の方法・基準	レポート50%+試験50%						
教科書	応用栄養学実習-ケーススタディで学ぶ栄		五関正江、小林三智子編著		建帛社		
参考図書	①日本人の食事摂取基準[2015年版] ②日本食品成分表2015		①菱田明・佐々木敏 監修 ②医歯薬出版編		①第一出版 ②医歯薬出版		
教員からのメッセージ	個人での献立レポート作成ののち、グループでの献立作成、実習、レポート提出を行います。個人の献立レポート、班献立、実習後のレポートはコメントを付して授業内で返却します。						